

# 催し物

## 月寿教室②

とき 5月24日(水)  
午前10時から  
午後2時から  
ところ 月寿荘

内容 講演会  
・演題 家庭の医学  
「呼吸健康法」  
・講師 西川町 小野塚和子先生  
※いつものようにバスを運行しますのご利用下さい。

## 古文書講座②

とき 5月20日(土)  
午前9時30分から  
ところ 就業改善センター

## アルミ缶の回収

今回のアルミ缶の回収は次のとおりです。  
とき 5月21日(日)

※なお、諸般の事情、一応の目標の達成という事で今回をもちまして休止させて頂きます。御協力ありがとうございます。

大別当婦人会

## 少年家庭教育学級

今年度から少年家庭教育を新たに小学校PTAと共同で行います。

とき 6月3日(土)  
午後2時から  
ところ 月潟小学校

内容 講演会「思春期の心理」 講師 青陵短期大学 助教授 大野 久先生  
対象 児童を持つ親ならどなたでも

## 春季

## 近郷少年野球大会

とき 6月10日(土)  
予備日 11日(日)  
ところ 小学校グラウンド 村民野球場

近郷の小学5、6年生が月潟村に集って大会が開催されます。応援をお願いします。



# 県民カレッジ紹介

## 新潟・信濃川ものがたり

内容 大河「信濃川」に関する学習。  
時期 7月～9月 毎週火曜日  
会場 新潟市鳥屋野地区公民館  
その他 運営費500円 申し込み 6月1日、7月3日

## わかりやすい郷土と国際関係

内容 蒲原平野の生い立ち、近郷の文化財、史跡めぐり講演会等  
時期 6月3日～9月2日(8日間)  
会場 小須戸町中央公民館

## SIVC新潟校 開放講座

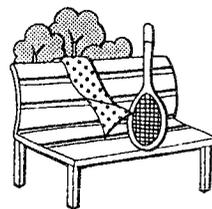
内容 各々のレベルに合わせた英会話を外国人教員と楽しみながら勉強します。  
時期 6月～7月、9月～11月、1月～4月 週1回(火曜か木曜)  
午後7時～9時  
会場 新潟イリノイ友好会館2階  
その他 費用未定

## 社会人ボランティア活動 体験学習

内容 企業職員等を対象に社会福祉施設でのボランティア活動体験  
期日 8月上旬(2泊3日)  
会場 県立青少年研修センター  
その他 参加費 3,000円

## 野球場・テニスマ場 ナイター利用

村民野球場、テニスマ場の夜間使用が、5月からできるようになりましたので御利用下さい。



## つきがた文芸欄

### 〔俳句〕

小湊新一(大別当)

山の宿眼下の部落

春のもや

剪定で肩を

もみもみ入浴す

寺の鐘家路へ

急ぐ春の暮れ

# 公民館だより

## 春季 村民鮎釣大会

4月16日(日)、東大通川で春季村民鮎釣大会が行われました。参加者、総勢42人のみなさんが、楽しい一日を過ごしていました。

### 《成績発表》

優勝 滝沢末三郎

準優勝 神保 幸雄

三位 中村 芳男

大物賞 神保 栄市

特別賞 小武内武雄

18 cm 鮎

『ついでに月潟村へ』トートムボールが立ちました  
月潟農村公園にトートムボールが立ちました。これは小学4～6年生(当時)のわんぱく隊が作成したものです。月潟橋から下りて来る時見えますので御覧下さい。

### ◎作成した人

曾山沙緒里、小湊千春、渡辺泰広、間島論、児玉慎二、森山慎一朗、間島篤、田辺圭紀、関本悠希、阿部学

## 村内清掃美化運動 アキ缶拾いを実施

4月2日(日)、ふるさと運動主催、青少年育成村民会議の協賛で「アキ缶拾い」が行われました。

晴天に恵まれ、村内の各種団体、小中学生、親子など約250人の参加を得て、早朝6時30分より、1時間、村内主要道路脇の「アキ缶類」を拾いました。

早朝より参加していただきましたみなさん、大変ありがとうございました。ありがとうございました。



▲1時間たらずで集まった缶の山

## 体力・筋力増進に二役

中学校体育館2階トレニングルームにトレーニンングマシンを設置しました。



ウエイトトレニング、腹筋、背筋、脚力の運動をすることが出来ます。御利用下さい。

### 《使用注意事項》

- ・事前に教育委員会へ使用申し込み書を提出して下さい。
- ・2人以上のグループで使用して下さい。
- ・使用後はウエイトプレートやシャフトからはずして下さい。
- ・飲酒された方は使用できません。

◎急激な、又能力を超えた筋力トレーニングは逆に体を痛めたり、命にかかわる事故の原因となります。又心肺機能が筋力に伴わないと身体に悪影響を及ぼしますので計画的なトレーニングを心掛けて下さい。

## がんばらなくっちゃ 月潟クラブ (ママさんバレー)

◎前年度のあゆみ  
近郷を主として参加した大会は六回。そのうち優勝二回(月潟、中之口近郷)、三位一回(潟東近郷)の成績をあげることができた。

週一回(水曜夜、農環センター)だけの練習で好成绩を収めることができた理由は、中・高校生だったころの技術が優れていることと、練習時の集中力が高いことだろう。月中のバレー部の生徒が、試合を見て言っていた。「ママさん達って、超ウマイんだ!!」特に、昨年11月に、初めて月潟近郷大会を開催してもらったこと、そして何とか優勝できたことは非常に嬉しかった。改めて体育協会のご尽力に深く感謝申し上げます。今年度は第2回を予定し、より盛大にと考えています。

◎自慢していいこと  
何と言ってもチームワークの良いこと。試合や練習の時だけでなく、日常の生活を助け合い、情報交換も活発であ

る。誰が病気で、どこが痛いとか、花粉症のひどいのは誰だということまで、全員に周知徹底している。だから、試合になればお互いをカバーしあうことは当たり前でできる。これは、クラブ員だけでなく、陰で支えてくださるご主人方の心配りによることも大きい。昨年の秋の月潟大会後の夫婦反省会(七夕の会?)は大いに意義があったと思っている。

次にまじめな練習態度も自慢していいことだと思ふ。毎年確実に一歳ずつ歳をとっていくはずなのに、プレーは少しも衰えない。逆に向上していく人が大部分である。技術が向上していくのだから、いつまでも若さを保っているのもうなずける。

◎これからの課題  
勝つことだけが目標ではないが、メンバーの層の薄さが心配である。家庭婦人は全員集まるのが難しい。本人だけでなく、家族全員の都合によることが多いからである。その意味で多数の家庭婦人のご参加をお願いしたいものです。年齢や既婚は問いません。是非練習日の見学から始めてみませんか。お待ちしております。